



大社充氏を「観光まちづくり戦略アドバイザー」に任命

～自然とアートを軸に、観光で「稼げる町」へ～

奈義町では、観光マーケティング分野における日本の第一人者である大社充氏を、「観光まちづくり戦略アドバイザー」に任命いたしました。

この役職は、奈義町創生の目標である「人口6000人の維持」と「活力ある元気な経済」を実現するためには、地域の「稼ぐ力」を引き出すことが重要であることから、「観光地経営」の視点に立った観光まちづくりの舵取り役として新設したものです。

大社氏は、着地型観光コンテンツ開発に、25年以上関わると同時に、DMO（Destination Marketing/Management Organizationの略で、地域全体の観光マネジメントを一本化する、着地型観光のプラットフォーム組織のことを指す）の普及啓発に取り組み、多くの実績を持っています。さらに、地方自治体の現場に対する深い理解を踏まえ、国の「まち・ひと・しごと創生会議」有識者委員として、地方創生における観光政策の立案を主導されました。まさに「観光まちづくり戦略アドバイザー」の最適任者として就任を要請したところ、ご快諾いただいたものです。

今後、氏の協力の下、町内での人材育成を進め、奈義町ならではの観光地経営の確立と、自然とアートを軸に、観光で「稼げる」まちづくりを推進してまいります。

具体的には、まずは「一般社団法人ビジット奈義」（平成28年4月観光庁により中四国初の「地域DMO」に登録）の「マーケティング委員会」アドバイザーとして、本日より活動を開始していただきます。

同委員会は、若い世代を中心とした町民（約20人）で構成し、観光客に対するアンケート調査などのマーケティング・データの分析に取り組むなど、実戦的な研修を通じて、奈義町の観光まちづくりについて考えていきます。

中山間地域の小さな町の地方創生の大きな挑戦に、どうぞご注目ください。

【大社充氏経歴】



NPO法人グローバルキャンパス理事長／事業構想大学院大学客員教授／DMO推進機構代表理事

1961年兵庫県宝塚市生まれ。1985年京都大学卒。1987年よりエルダーホステル協会の創設に参画。町おこしや地域資源を活用した集客コンテンツの開発に取り組む。2004年NPO法人グローバルキャンパスを設立。各地で観光まちづくりや観光人材育成に取り組む。

「観光まちづくりプラットフォーム（DMO）事業運営人材育成研修」を全国80地域以上で実施。2011年「DMO（観光地域づくりプラットフォーム）推進機構」設立。2013年、日本観光振興協会に「DMO研究会」を立ち上げDMO研究及び概念普及・地域への導入支援に取り組む。2014年「まち・ひと・しごと創生会議」有識者委員。事業構想大学院大学・客員教授として観光まちづくり（DMO）プロジェクト研究を担当。

【大社充氏コメント】

地元のみなさんが誇りをもって楽しく生き生きと暮らすまちをつくること。それが結果として人びとが訪れたいと思う魅力的なまちづくりになるでしょう。そんなお手伝いが少しでもできればと思います。

【問い合わせ先】

岡山県勝田郡奈義町豊沢306-1
奈義町役場
まちづくり戦略室長 大内 善文
班長 森安 栄次
☎（0868）36-4126